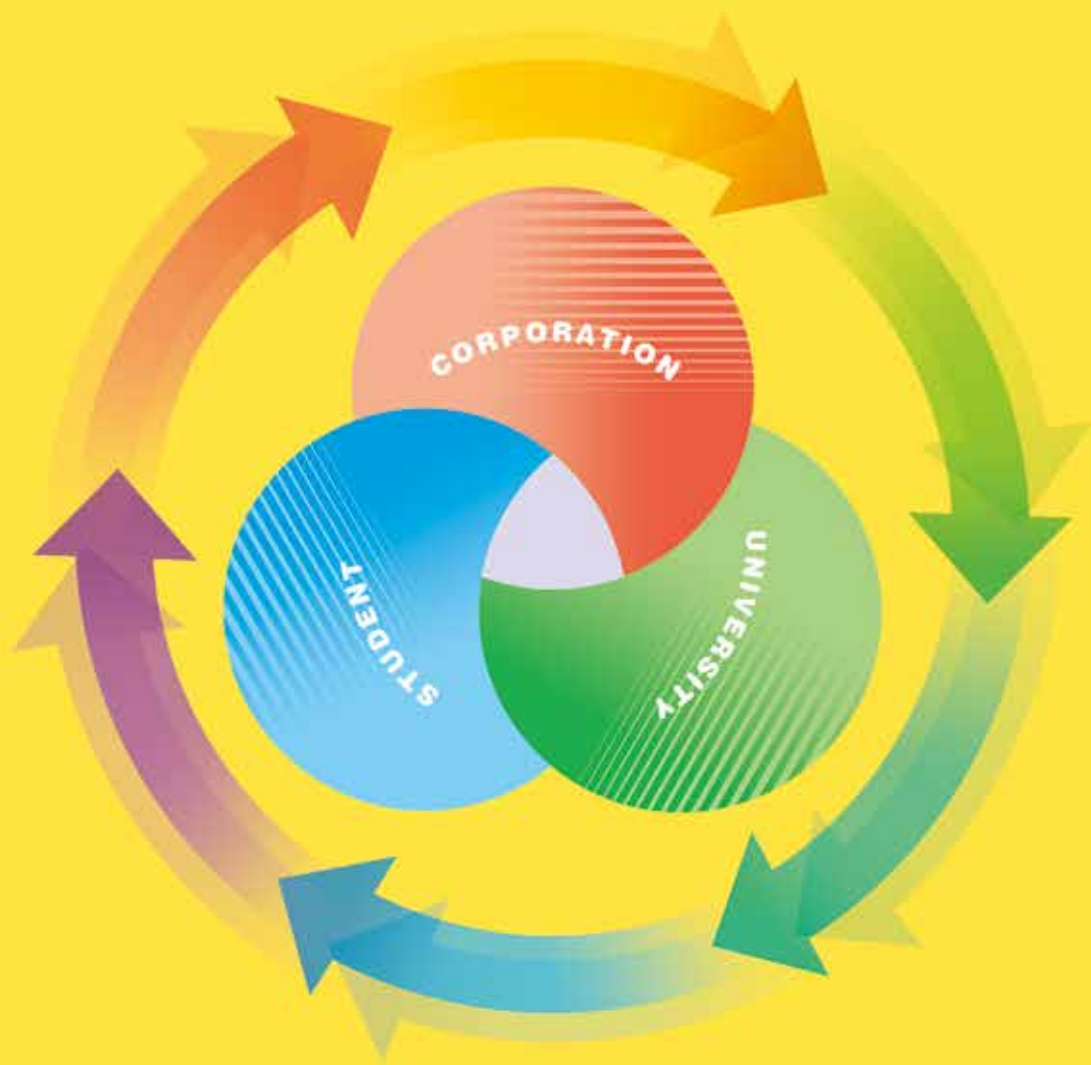


2018年度
**企業人
派遣講座**



一般財団法人
経済広報センター

はじめに

経済広報センターは、次代を担う大学生に最新の経済動向や産業の実態などについて、実感をもって理解していただくことを目的に、企業経営者や第一線で働く経営幹部、技術者を講師として大学に派遣する「企業人派遣講座」を開設しています。1986年度に早稲田大学国際部(現・国際教養学部)で開始して以来、11大学で講座を開設し、多彩な企業人が、企業の特徴ある事業や直面している経営課題、技術開発について、最新のトピックスを交えながら、わかりやすく学生たちに語りかけてきました。

2018年度は、6大学(うち3大学は同一講義をインターネット相互配信)で8講座を開設、合計100人の講師を派遣しました。受講した学生は、合計1,539人にのぼります。

大学や学生からは、日本経済や企業の実体、技術の最先端に触れることができる貴重な機会であると高い評価を得ています。一方、講師の方々からも、学生に産業や企業について深く理解してもらえる良い機会である、との評価を得ています。

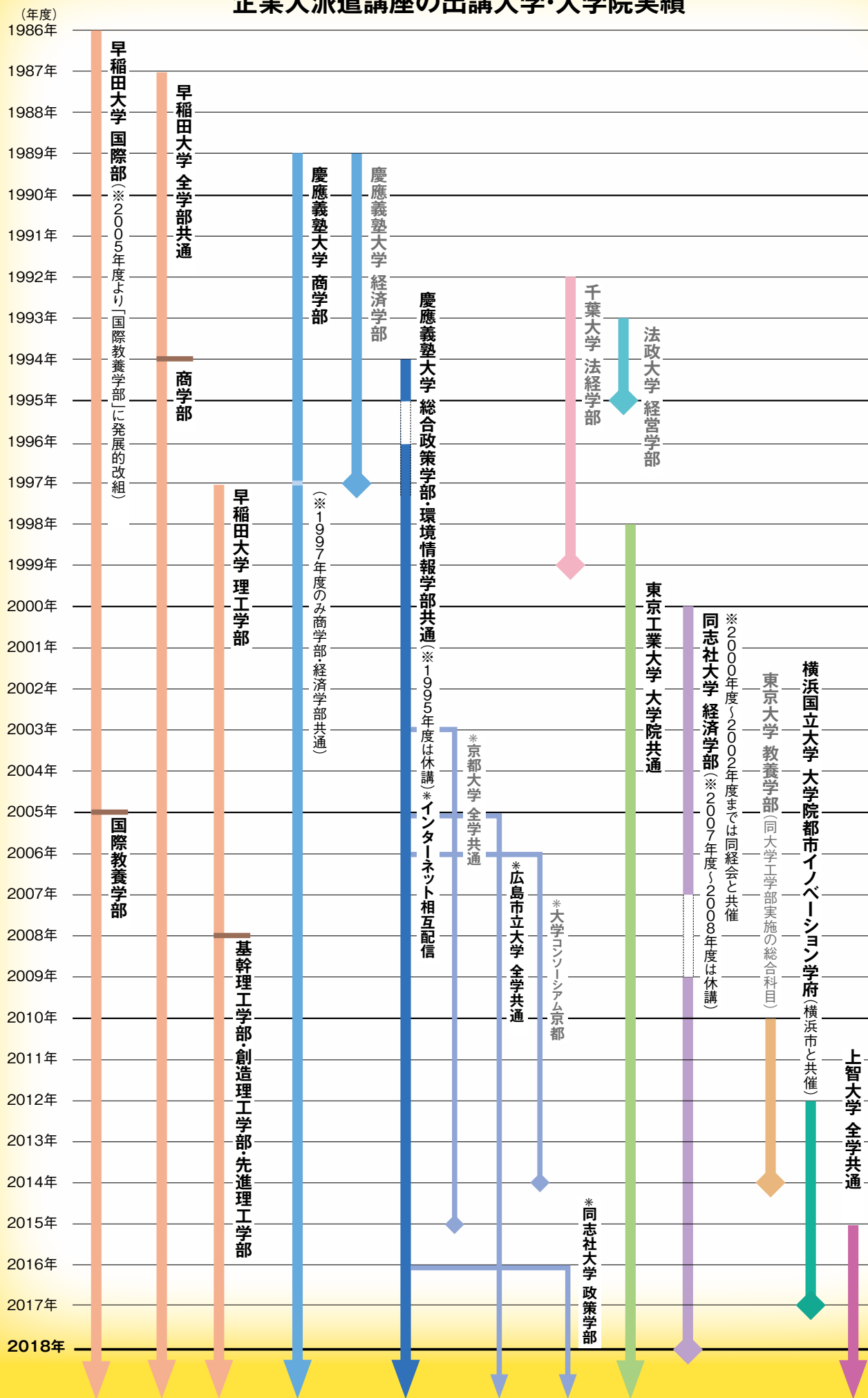
近年、めまぐるしく変化する世界経済の中で、我が国が自立的・持続的な経済成長をしていくためには、イノベーションが継続して産まれる環境作りが必要不可欠となっています。このイノベーション創出のためにも、大学の「知」や次代を担う「人財」と、付加価値の高い製品やサービスを社会に提供し続ける「企業」とが交流し連携することは、非常に大きな意義を有していると考えられます。そのため、産学連携による本講座は、大学と企業とが出会い、産業界で活躍できる人材を育てる場の一つとして、今後ともその重要性や期待はますます高まるものと確信しています。

最後に、お忙しい中、ご出講いただきました講師の方々および関係者の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後も、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

一般財団法人 経済広報センター
専務理事・事務局長

渡辺 良

企業人派遣講座の出講大学・大学院実績



2018年度

(「株式会社」「財団法人」等および敬称は省略した。企業名、部署・役職名等は出講日時点)

前期・春学期

早稲田大学 国際教養学部 『日本企業論』	4
慶應義塾大学 商学部 『「持続可能な開発」と企業の国際経営戦略』	5
同志社大学 経済学部 『科学と技術』	6
上智大学 全学共通 『新たな価値創出のために:日本企業のイノベーションへの取り組み』	7

後期・秋学期

早稲田大学 商学部 『変化に対応する日本企業』	8
早稲田大学 基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部 『21世紀における科学技術と社会』	9
慶應義塾大学 総合政策学部・環境情報学部共通 『21世紀の企業の挑戦』 ※ 広島市立大学(全学共通)、同志社大学(政策学部)と共通講義	10
広島市立大学 全学共通 『21世紀の企業の挑戦』 ※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、同志社大学(政策学部)と共通講義	10
同志社大学 政策学部 『21世紀の企業の挑戦』 ※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、広島市立大学(全学共通)と共通講義	10
東京工業大学 大学院共通 『科学技術特論』	11
過去5年(2017年度~2013年度)の講義テーマ、出講企業・団体名	12

■受講生

早稲田大学国際教養学部学生を中心に115名

■コーディネーター

樋口 清秀／早稲田大学 国際学院教授



日本企業論

～日本企業の国際戦略とその経営理念～

〔シラバス抜粋〕

This special course has provided Waseda University students with the opportunity to hear the nature and the internationalization of Japanese enterprise directly from respected business analysts and senior executives of leading Japanese firms. The course was founded by the Japan Institute for Social & Economic Affairs (Keizai Koho Center). We plan on inviting directors from major Japanese companies such as Japan Airlines, Mitsui & CO. (Mitsui Bussan), Kikkoman and so forth. Each week a guest speaker will share their insights into the contemporary challenges and opportunities facing Japanese firms in the global market.

4月11日	オリエンテーション	樋口 清秀	早稲田大学 国際学院教授
4月18日	What Is A Business Corporation 1	樋口 清秀	早稲田大学 国際学院教授
4月25日	What Is A Business Corporation 2	樋口 清秀	早稲田大学 国際学院教授
5月9日	日本の航空産業と国際戦略	土橋 健太郎	日本航空 路線統括本部国際提携部部长
5月16日	経団連が目指す通商戦略	原 一郎	日本経済団体連合会 国際経済本部長
5月23日	国際企業の日本戦略	小林 康二	日本コカ・コーラ 経営戦略本部コンシューマー&コマースナレッジ&インサイツ ディレクター
5月30日	Leadership in the Digital Age	中 島 シハブ ドウグラ	シスコシステムズ合同会社 専務執行役員サービス営業統括
6月6日	中間試験	樋口 清秀	早稲田大学 国際学院教授
6月13日	日本における資産管理サービス	高橋 秀行	ステート・ストリート信託銀行 取締役会長
6月20日	日本の金融市場	池上 浩一	野村ホールディングス コーポレート・シティズンシップ推進室シニア・コミュニケーション ズ・オフィサー
6月27日	日本の総合商社と新しい展開(1)	目黒 祐志	三井物産 執行役員CAO補佐
7月4日	日本の総合商社と新しい展開(2)	林 慎也	住友商事グローバルリサーチ 企画総括部企画総括部長付(広報担当)
7月11日	Role of Monetary Policy in the Global Economy	篠 潤之介	早稲田大学 国際教養学部専任講師
7月18日	日本の食品産業と国際戦略	中村 光伸	キッコーマン 執行役員海外事業部長
7月25日	期末試験	樋口 清秀	早稲田大学 国際学院教授

■受講生

慶應義塾大学商学部 3・4年生他 322名

■コーディネーター

大東 一郎 / 慶應義塾大学 商学部教授



「持続可能な開発」と企業の国際経営戦略

〔シラバス抜粋〕

開発途上諸国での「持続可能性」の達成を目指す「ミレニアム開発目標(MDGs)」は、「持続可能な開発目標(SDGs)」へと発展。SDGsは、政府や国際機関だけでなく、民間企業の国際活動も大きな役割を果たしうることが認識されています。

本講座では、現実の民間企業の具体的な経営戦略に沿って、国際的な企業活動が世界の貧困削減や環境保全にどのように貢献しているかを具体的に考えていきます。様々な業界からスピーカーを迎えることで、企業間・産業間で対処すべき問題やアプローチがいかに異なっているかも理解できるでしょう。

4月10日	イントロダクション	大東 一郎	慶應義塾大学 商学部教授
4月17日	SDGsを経営に統合する ～企業セクター及び損保ジャパン日本興亜の取り組み～	関 正 雄	損害保険ジャパン日本興亜 CSR室シニアアドバイザー
4月24日	味の素グループの事業による社会課題の解決 ～持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向かって～	長谷川 泰伸	味の素 グローバルコミュニケーション部CSRグループ長
5月8日	旭化成 ベンベルグCSVビジネス	神山 剛啓	旭化成 繊維事業本部ベンベルグ事業部ベンベルグ第一営業部部长
5月15日	中期経営計画と統合したサステナビリティの取り組み	平尾 佳淑	オムロン サステナビリティ推進室室長
5月22日	住友化学グループのSDGsへの取り組み	福田 加奈子	住友化学 CSR推進部部长
5月29日	持続可能な社会の実現をめざして ～イオンの取り組み～	金丸 治子	イオン 環境・社会貢献部部长
6月5日	サステナブルな社会をめざして ～パナソニックグループの事業と企業市民活動～	福田 里香	パナソニック ブランドコミュニケーション本部CSR・社会文化部部长
6月12日	SDGsの達成に貢献する日立の取り組み	高野 美樹	日立製作所 サステナビリティ推進本部ディスクロージャー推進部部长
6月19日	SDGsの達成に貢献するNECの取り組み	榎本 亮	日本電気 執行役員兼CMO
6月26日	国連 持続可能な開発に関するLIXILの取り組み (世界の衛生問題をビジネスで解決)	後藤 淳一	LIXIL Social Sanitation Initiatives部部长 (SATO事業統括)
7月3日	「持続可能な開発」と企業の国際経営戦略	圭室 俊雄	武田薬品工業 コーポレート・コミュニケーションズ&パブリックアフェアーズCSR ヘッド
7月10日	「持続可能な開発」と企業の国際経営戦略	猪俣 恵美	伊藤忠商事 サステナビリティ推進室長代行
7月17日	まとめ(試験)	大東 一郎	慶應義塾大学 商学部教授

■受講生

同志社大学経済学部生を中心とした1~4年次生 124名

■コーディネーター

茂見 岳志 / 同志社大学 経済学部教授



科学と技術 ~企業のグローバル展開~

〔シラバス抜粋〕

現代社会の動向は科学や技術と深く結びついており、経済現象も勿論例外ではない。科学・技術の本質や現在の状況を理解することは、現代社会の動きを理解する上で大変重要である。

本講義は、科学・技術の先端的な動向について、現実の企業活動や産業の展開との関連から学ぶ。そのために、企業や研究所から講師(ゲストスピーカー)を招き、最新のトピックスについて講義を展開していただく。

4月10日	ガイダンス	茂見 岳志	同志社大学 経済学部教授
4月17日	ANAグループの国際戦略・新規事業の取り組みについて	野中 利明	ANAホールディングス グループ経営戦略室グローバル事業開発部副部長
4月24日	キリングループのグローバル展開	吉村 透留	キリンホールディングス グループ経営戦略担当ディレクター
5月8日	お客様の輝きにつながるマツダのものづくり ~魂動デザイン~	安達 範久	マツダ 技術本部本部長
5月15日	三菱商事のグローバル展開	佐伯 正実	三菱商事 関西支社電力プラント部部長代行
5月22日	企業のグローバル展開 ~海外での価値の共創、そのために必要とされる人財~	香田 隆之	味の素 執行役員生産戦略部長
5月29日	当社のグローバル展開について	深沢 信介	ワコール 人事総務本部人事部人事企画課課長
6月5日	科学と技術 ~企業のグローバル展開~	岡部 一志	日本マイクロソフト 業務執行役員コーポレートコミュニケーション本部本部長
6月12日	非鉄金属事業の歴史と今後の展望	中里 佳明	住友金属鉱山 代表取締役社長
6月19日	AI+IoT時代の日本のエレクトロニクス産業 -再び輝きを取り戻せるか-	梶本 一夫	パナソニック 全社CTO室理事
6月26日	セブンイレブン グローバル戦略	阿部 真治	セブン-イレブン・ジャパン 企画本部グローバル事業推進部執行役員部長
7月3日	Think Globally, Act Globally	大川 昌男	堀場製作所 常務執行役員管理本部長兼東京支店長
7月10日	高速鉄道の発展 -東海道新幹線、リニア中央新幹線、海外展開-	丹羽 俊介	東海旅客鉄道 執行役員広報部長
7月17日	モスフードサービスの経営理念と海外展開	近藤 孝昭	モスフードサービス 人材開発部長兼モスシャイン 代表取締役社長
7月24日	まとめ	茂見 岳志	同志社大学 経済学部教授

■受講生

上智大学全学部3・4年次生 146名

■コーディネーター

中里 透 / 上智大学 経済学部准教授



新たな価値創出のために:日本企業のイノベーションへの取り組み

〔シラバス抜粋〕

イノベーションは、しばしば「技術革新」と訳され、生産技術の改良や革新をあらわす意味で用いられてきました。しかしながら、イノベーションの本来の意味は「技術革新」という狭い概念にとどまるものではありません。新しいアイデアによって、それまでにない新たな価値を創造し、社会に大きな変化をもたらすような「変革」を指すはるかに広義の概念です。

この講義では、実際に企業でイノベーションに取り組んでいらっしゃる方々を講師にお招きして、イノベーションへの取り組み、そしてそれによって生み出された新たな価値についてご講演いただきます。

この講義を通して「広い意味でのイノベーション」への理解を深めることで、高学年学生がそれまで各学部で学んできた知識を生かしながら、将来イノベーションに取り組みたいと考える契機となることが期待されます。

4月16日	ガイダンス・イントロダクション	中里 透	上智大学 経済学部准教授
4月23日	「すべてのうまい!」を実現するための商品開発	伊藤 義訓	アサヒビール 取締役兼執行役員研究開発本部長
5月7日	トヨタのチャレンジ / 電動車開発への取り組み	中井 久志	トヨタ自動車 広報部グローバルコミュニケーション室 技術グループ技職担当部長
5月14日	ヤマトグループが進めるイノベーション	佐々木 啓介	ヤマトホールディングス 総務機能シニアマネージャー
5月21日	投資信託ビジネスの課題と将来	岩崎 俊博	投資信託協会 会長
5月28日	建設機械の自動化による次世代の建設生産システム	藤巻 孝治	鹿島建設 機械部自動化施工推進室
6月4日	ANAのDNAはチャレンジ ~デジタル・デザイン・ラボが描く未来のエアライン~	津田 佳明	ANAホールディングス デジタル・デザイン・ラボ チーフ・ディレクター
6月11日	広告宣伝領域におけるデジタルトランスフォーメーションと 体験価値の提供	小城 郁夫	凸版印刷 情報コミュニケーション事業本部トッパンアイデアセンター センター長兼マーケティング本部本部長
6月18日	高速鉄道の発展 -東海道新幹線、リニア中央新幹線、海外展開-	丹羽 俊介	東海旅客鉄道 執行役員広報部長
6月25日	資源・素材から環境への事業展開	川上 智	DOWAホールディングス 技術部門・環境安全部門部長
7月2日	エネルギー企業におけるイノベーション創出の必要性と取り組み	田中 祐一	JXTGエネルギー 中央技術研究所技術戦略室室長
7月9日	よきモノづくりを支える革新活動	内海 実	花王 エグゼクティブ・フェロー
7月16日	小売業のイノベーションについて	齊藤 岳彦	イオン 執行役デジタル事業担当兼地域エコシステム・プロジェクト担当
7月23日	製薬会社が取り組むオープン・イノベーション	藤本 利夫	湘南ヘルスイノベーションパーク ジェネラルマネージャー
7月30日	試験	中里 透	上智大学 経済学部准教授

■受講生

早稲田大学商学部・他学部 2年生以上 200名

■コーディネーター

片岡 孝夫 / 早稲田大学 商学学術院教授



変化に対応する日本企業

〔シラバス抜粋〕

今年度は「変化に対応する日本企業」というテーマで開催されます。日本企業をとりまく環境は、少子高齢化、グローバル化の進展、ICT技術の急速な発展、政府の財政状況の悪化、中東・欧州・東アジア等における経済状況の急変などにより大きく変化し、旧来のビジネスモデルは修正を余儀なくされています。この講義では、経済の最前線で活躍されている方々をお招きして、日本企業がこれらの環境変化に対し、どのように対処しているかを直接お話しいただきます。

真摯かつ熱心な聴講を期待します。

9月27日	ガイダンス	片岡 孝夫	早稲田大学 商学学術院教授
10月4日	人口減少・超高齢が進む日本の介護サービスの行方	森川 悦明	オリックス・リビング 取締役社長
10月11日	変革へのチャレンジ ～日立の経営改革～	山崎 武	日立製作所 経営企画室長
10月18日	スズキのユニークな経営戦略	岡島 有孝	スズキ 広報部長
10月25日	印刷テクノロジーで変化をチャンスに	緒方 宏俊	凸版印刷 広報本部長
11月8日	脳情報通信時代の到来とNTTデータの取り組み	矢野 亮 茨木 拓也	NTTデータ 社会基盤ソリューション事業本部ソーシャルイノベーション事業部 デジタルソリューション統括部第一営業担当部長 NTTデータ経営研究所 ニューロイノベーションユニットマネージャー
11月15日	変化に対応する総合商社 ～双日を例に～	渋谷 誠	双日 経営企画、サステナビリティ推進、海外プロジェクト推進担当役員 補佐兼サステナビリティ推進室長
11月22日	建設業を取り巻く環境と大成建設の取り組み	塩入 徹弥	大成建設 人事部部長
11月29日	セブン-イレブン・ジャパン変化への対応の歴史と現状の取り組み	酒井 良次	セブン-イレブン・ジャパン 企画本部取締役専務執行役員本部長
12月6日	大阪から世界へ ～ワールドクラスを目指す成長戦略～	田中 良輔	カプコン 秘書・広報IR部長
12月13日	高速鉄道の発展 ～東海道新幹線、リニア中央新幹線、海外展開～	丹羽 俊介	東海旅客鉄道 執行役員広報部長
12月20日	ヤマトグループが進めるイノベーション	佐々木 啓介	ヤマトホールディングス 総務機能シニアマネージャー
1月10日	SMBCが目指すリテールビジネスの方向性 ～銀行のデジタルライゼーションとは～	江藤 敏宏	三井住友銀行 リテールIT戦略部部長
1月17日	三菱マテリアルのこれまでと将来への変革	入江 彰二郎	三菱マテリアル 経営戦略本部経営企画部部長補佐
1月24日	理解度の確認	片岡 孝夫	早稲田大学 商学学術院教授

■受講生

早稲田大学基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部 1年生以上 181名

■コーディネーター

綾部 広則 / 早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域教授

石倉 義博 / 早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域教授

白木 里恵子 / 早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域講師

馬場 健誠 / 早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域講師



21世紀における科学技術と社会

～農林水産業の現状と展望～

〔シラバス抜粋〕

本講座は多くの学生諸君の関心を惹き、社会的にも大いに評価を得てきたことから、2001年度以降も継続して設置されることになり、世界的にも科学技術と社会の関係を問うSTS(Science, Technology, and Society)研究が注目されている状況をふまえて、「21世紀における科学技術と社会」をメインテーマとする科目を開設し、多角的な視点から科学技術のあり方を探求している。

今年度は、農林水産業の現状と展望というテーマとする。農林水産業は科学技術にとどまらず、経済・産業にいたる広範な分野から成り立っており、その裾野の広がり大きさゆえに、農林水産業の全体像を俯瞰することは容易ではない。

そこで第一線でご活躍の方々をお招きし、各分野での取り組みと展望をお話いただくことで、その具体像や今後の展望を知る手がかりとする。

10月1日	オリエンテーション	綾部 広則	早稲田大学 理工学術院教授
10月8日	種苗業の現状と展望 ～育種～	加屋 隆士	タキイ種苗 常務取締役兼研究農場農場長
10月15日	産業構造の変化と技術革新に伴う都市再編と地域活性について	杉浦 榮	S2 Design and Planning / 前橋工科大学 代表 / 准教授
10月22日	農林水産業の現状と展望 農薬・化学肥料	河村 伸一	住友化学 健康・農業関連事業研究所研究グループ(探索化学)グループ マネージャー
10月29日	農業×ICTによるイノベーション ～アグリインダストリー創生に向けて～	若林 毅	富士通 スマートアグリカルチャー事業本部エキスパート
11月5日	農林水産業の現状と展望 持続可能な未来農業の実現に向けて	伊勢村 浩司	ヤンマーアグリ / ライステクノロジーかわち 経営企画部新規事業推進グループ部長 / 代表取締役
11月12日	イオン農場の取組	福永 庸明	イオンアグリ創造 代表取締役社長
11月19日	農林水産業の現状と展望 食肉:豚の生産・飼育	船越 直之	ハイライフポーク・アジア・リミテッド 日本代表兼チーフ・マーケティング・オフィサー
11月26日	サラダクラブの取り組みとこだわりについて	田中 龍二	サラダクラブ 専務取締役
12月3日	農林水産業の現状と展望	小林 雄二	日本水産 水産事業副執行役員
12月10日	農林水産業の現状と展望 水産養殖業について	伊藤 暁	マルハニチロ 執行役員増養殖事業部長
12月17日	木を植えるということ ～王子グループの植林事業～	花山 秀文	王子グリーンリソース 資源環境ビジネス本部植林事業部グループマネージャー
1月7日	農業経済～外食～	磯野 健雄	ワタミ 取締役MD本部長
1月21日	人口が減少する中で農山村の集落を残すために ～静岡県浜松市における調査&実践活動から～	船戸 修一	静岡文化芸術大学 文化政策学部准教授
2月4日	試験	綾部 広則	早稲田大学 理工学術院教授

■受講生

慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部 1~4年生他 248名
広島市立大学 1~4年生 122名
同志社大学政策学部 2~4年生 29名

■コーディネーター

小澤 太郎 / 慶應義塾大学 総合政策学部教授
田中 宏和 / 広島市立大学 大学院情報科学研究科教授
前田 香織 / 広島市立大学 大学院情報科学研究科教授
畑本 裕介 / 同志社大学 政策学部教授

21世紀の企業の挑戦

~デジタル時代のビジネス戦略~

〔シラバス抜粋〕

この講座は学部学生に対して実社会への窓口となり、学生諸君が自分の将来を考える上で注目度の高い講座となっている。

デジタル時代到来の下での情報通信産業の発展並びに産業全般のICT化の進展は、21世紀の経済面での我が国の国際競争力をかなりの程度決定付けると考えられる。今年度もデジタル時代のビジネス戦略に直接携わられ、実践されてこられた方々を講師としてお迎えし、最先端の実務の現状並びに解決すべき課題を分かり易く講義して頂く事とした。また、広島市立大学及び同志社大学と遠隔授業を行う。



同志社大学授業風景

9月25日	ガイダンス	小澤 太郎	慶應義塾大学 総合政策学部教授
10月2日	ビッグバン産業:情報通信の現在、過去、未来	神野 新	情報通信総合研究所 法制度研究部主席研究員
10月9日	Microsoft社のTransformation事例	小柳津 篤	日本マイクロソフト エンタープライズ&パートナーシップグループ エグゼクティブアドバイザー
10月16日	山形庄内で次世代に繋ぐ街をデザインする	山中 大介	YAMAGATA DESIGN 代表取締役
10月23日	タンパク質による素材革命 ~人工クモ糸で衣服や自動車を作る未来~	菅原 潤一	Spiber 取締役兼執行役
10月30日 (広島市立大発)	やりたいことをやるために ~グローバルスタンダードを追わない~	岩田 恵一	インターフェース ソフトウェア開発本部本部長
11月6日 (同志社大発)	働き方・生き方の多様性とコーチング	戸田 紳司	コーチ・しおん 代表
11月13日 (同志社大発)	一人ひとりが主役の企業づくりを目指して (人も企業も地域も一緒に育つ、楽しくおもしろい地域創造)	宿野 秀晴	Medico-tec 代表取締役
11月27日 (広島市立大発)	文化財の三次元計測とインフラ点検	藏重 裕俊	計測リサーチコンサルタント クリエイティブ事業部次長
12月4日 (同志社大発)	中小企業のグローバル化戦略:地域をデータから見た 地域企業づくり	大瀧 育恵	健幸プラス 代表取締役
12月11日	マネーとはなにか? -技術革新がもたらすマネー論再考-	副島 豊	日本銀行 決済機構局審議役FinTechセンター長
12月18日	Googleの社会への貢献	舟山 和男	グーグル合同会社 公共政策部マネージャー
12月25日	世界の産業変革とサイバーセキュリティ	岡田 昭広	富士通 グローバルサイバーセキュリティ部門シニアフェロー
1月8日	中小企業は知恵の経営:創業期から成長期にかけての課題を いかに克服するか	藤井 辰紀	日本政策金融公庫 総合研究所中小企業研究第一グループグループリーダー
1月15日	総括	小澤 太郎	慶應義塾大学 総合政策学部教授

■受講生

東京工業大学大学院学生 52名

■コーディネーター

奥野 喜裕 / 東京工業大学 工学院教授



科学技術特論

～エネルギー・環境技術の最先端と将来展望～

〔シラバス抜粋〕

全学大学院学生を対象に、産業界の最先端の情報を提供しつつ、グローバルな視点を有する優れた人材を育成することを目的に開講します。日本を代表し、また世界でも活躍されている産業界のトップ、研究開発部門のエキスパートの方々の講義であり、産業界あるいは企業と大学との接点を見出し、それぞれが描く将来展望のすりあわせを図ります。研究開発や教育等で、世界的な活躍が期待される、またそのような意欲に燃えた大学院学生諸君にとって、将来本講義で習得した高度な専門知識が生かされることを期待しています。各講義では、討論の時間を可能な限り多く設け、受講生と講師の対話を大切にします。

なお、講義はすずかけ台キャンパスと大岡山キャンパス間で遠隔講義システムを使い同時に行い、講師はすずかけ台キャンパスと大岡山キャンパス交互に来学します。

10月3日 (すずかけ台)	ガイダンス/科学技術・理工系人材への期待	奥野 喜裕	東京工業大学 工学院教授
10月10日 (大岡山)	電力システム改革と今後の電気事業	筒井 美樹	電力中央研究所 社会経済研究所事業制度・経済分析領域上席研究員
10月17日 (すずかけ台)	石油資源の活用とエネルギー・環境政策	三浦 安史	石油連盟 技術環境安全部長基盤整備・油濁対策部長
10月24日 (大岡山)	航空業界におけるエネルギー・環境先端技術	川床 理	全日本空輸 整備センター技術部構造技術チームアシスタントマネジャー
10月31日 (すずかけ台)	発電用ガスタービン技術開発の現状と展望	正田 淳一郎	三菱日立パワーシステムズ 執行役員ターボマシナリー本部副本部長 兼ガスタービン技術総括部長
11月7日 (大岡山)	自動車業界におけるエネルギー・環境先端技術	茂木 和久	トヨタ自動車 環境部調査グループプロフェッショナル・パートナー
11月14日 (すずかけ台)	次世代エネルギー技術と事業展開 ～天然ガス利用技術を中心として～	穴水 孝	東京ガス 代表取締役副社長エネルギーソリューション本部本部長
11月21日 (大岡山)	浮体式洋上風力発電の現状と課題	佐藤 郁	戸田建設 戦略事業推進室エネルギー事業部副事業部長
12月5日 (すずかけ台)	二酸化炭素の回収・貯留技術の現状と展望	熊谷 司	日揮 事業開発本部事業開発2部長
12月19日 (大岡山)	バイオマスエネルギーの高度利用と将来展望	八村 幸一	鹿島建設 環境本部プロジェクト開発グループ長
12月26日 (すずかけ台)	鉄鋼業界におけるエネルギー・環境先端技術と地球温暖化対策	手塚 宏之	JFEスチール 技術企画部理事地球環境グループリーダー
1月9日 (大岡山)	原子力発電の現状及び展望	市川 長佳	東芝エネルギーシステムズ エネルギーシステム技術開発センター 技監
1月16日 (すずかけ台)	2050年に向けたエネルギーシナリオと変革の切り口	金田 武司	ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役社長
1月23日 (大岡山)	総括	奥野 喜裕	東京工業大学 工学院教授

過去5年(2017年度~2013年度)の講義テーマ、出講企業・団体名

【前期・春学期・夏学期】

大学・学部名	年度	科目名・テーマ
早稲田大学／国際教養学部	2017	日本企業論 ～日本企業の国際戦略とその経営理念～
	2016	
	2015	
	2014	
	2013	
慶應義塾大学／商学部	2017	変化する経済の中での企業の成長戦略
	2016	人口減少下における日本経済と企業の成長戦略
	2015	企業の成長戦略と国民の経済的繁栄
	2014	国際競争のもとでの企業の成長戦略
	2013	インターネット時代の消費者行動とマーケティング戦略
同志社大学／経済学部	2017	科学と技術～人口減少下の成長戦略～
	2016	科学と技術～イノベーションと企業価値～
	2015	科学と技術～人々の安心・安全を守るための企業の取り組み～
	2014	科学と技術
	2013	～世界同時不況後の成長戦略～
東京大学／教養学部 (※2013年度終了)	2013	科学技術が拓く未来社会
横浜国立大学／大学院都市イノベーション学府 (※2017年度終了)	2017	都市マネジメント 環境未来都市の実現へ～産業界の挑戦と都市マネジメント～
	2016	
	2015	
	2014	
	2013	
上智大学／全学共通	2017	新たな価値創出のために:日本企業のイノベーションへの取り組み
	2016	日本の産業とイノベーション
	2015	

【後期・秋学期】

大学・学部名	年度	科目名・テーマ	
早稲田大学／商学部	2017	変化に対応する日本企業	
	2016		
	2015		日本企業のイノベーションと成長戦略
	2014		日本企業の国内外における利益獲得競争の最前線
	2013		日本企業のエネルギーと環境に関する課題と展望
早稲田大学／ 基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部	2017	21世紀における科学技術と社会～都市生活を支える技術～	
	2016	21世紀における科学技術と社会～スマート社会の展望～	
	2015	21世紀における科学技術と社会～センシング技術の現状と展望～	
	2014	21世紀における科学技術と社会～情報通信技術の展望～	
	2013	21世紀における科学技術と社会～ロボット技術の現状と展望～	
慶應義塾大学／総合政策学部・環境情報学部 広島市立大学／全学共通科目 同志社大学／政策学部	2017	21世紀の企業の挑戦～デジタル時代のビジネス戦略～	
	2016	21世紀の企業の挑戦～ブロードバンド時代のビジネス戦略～	
慶應義塾大学／総合政策学部・環境情報学部 京都大学／全学共通科目 広島市立大学／全学共通科目	2015		
慶應義塾大学／総合政策学部・環境情報学部 京都大学／全学共通科目 広島市立大学／全学共通科目 大学コンソーシアム京都	2014		
2013			
東京工業大学／大学院共通	2017	科学技術特論～エネルギー・環境技術の最先端と将来展望～	
	2016		
	2015		
	2014		
	2013		

出講企業・団体名

インテル、キッコーマン、シスコシステムズ、ステート・ストリート信託銀行、住友金属鉱山、住友商事グローバルリサーチ、日本アイ・ピー・エム、日本経済団体連合会、日本航空、日本コカ・コーラ、三井物産
インテル、キッコーマン、コマツ、ステート・ストリート信託銀行、住友商事グローバルリサーチ、日本経済団体連合会、日本アイ・ピー・エム、日本航空、日本コカ・コーラ、野村ファンドリサーチ・アンド・テクノロジー、三井物産、モルガン・スタンレーMUFJ証券
インテル、CarpeDiem、コマツ、住友商事グローバルリサーチ、ソニー、トヨタ自動車、日本経済団体連合会、日本航空、野村證券、三井物産、三菱自動車工業、モルガン・スタンレーMUFJ証券
コマツ、ソニー、ドコモエンジニアリング、トヨタ自動車、日本経済団体連合会、日本航空、野村ホールディングス、みずほ証券、三井物産、三菱自動車工業、三菱商事、モルガン・スタンレーMUFJ証券
コマツ、ソニー、ドコモエンジニアリング、トヨタ自動車、日本経済団体連合会、日本航空、野村ホールディングス、みずほ証券、三井物産、三菱自動車工業、三菱商事、モルガン・スタンレーMUFJ証券
NTTデータCCS、オムロン、鹿島建設、コマツ、住友金属鉱山、セブン・イレブン・ジャパン、大京、東海旅客鉄道、東京ガス、東レ、日立製作所、三菱商事
鹿島建設、カブコン、コマツ、セブン・イレブン・ジャパン、大京、東海旅客鉄道、東レ、日本郵船、野村アセットマネジメント、みずほフィナンシャルグループ、三菱商事、ユーグレナ/ユーグレナインベストメント
鹿島建設、カルビー、コマツ、セブン・イレブン・ジャパン、全日本空輸、東海旅客鉄道、凸版印刷、日本経済団体連合会(丸紅)、日本電気、野村ホールディングス(野村證券)、みずほフィナンシャルグループ、ヤマト運輸
味の素、コマツ、資生堂、住友商事、セブン・イレブン・ジャパン、全日本空輸、千葉銀行、東レ、トヨタ自動車、日本電気、野村ホールディングス、東日本旅客鉄道
イオン、インテージ、花王、大日本印刷、電通、ドコモ・インサイトマーケティング、日本アイ・ピー・エム、日本経済新聞、野村総合研究所、PMGホールディングス、MARK STYLER、読売広告社
アサヒビール、アマゾンジャパン、大阪ガス、オムロン、コマツ、島津製作所、デンソー、凸版印刷、日本電信電話、日立製作所、不二製油、三井不動産、ヤンマー、楽天
ANAホールディングス、JXリサーチ、大京、東海旅客鉄道、戸田建設、日産自動車、日本電気、日本郵船、星野リゾート、マツダ、ヤフー、ヤマト運輸、LINE
大阪ガス、カブコン、キュービー、近畿日本鉄道、セコム、東芝 コミュニティソリューション社、ドコモ・ヘルスケア、凸版印刷、トヨタ自動車、西日本高速道路、パナホーム、阪急電鉄、雪印メグミルク
大林組、関西電力、キッコーマン、京都銀行、シークス、スズキ、住友化学、タキイ種苗、東海旅客鉄道、東レ、日本航空、日本電信電話、ライオン
旭化成、SMBC日興証券、大阪ガス、オリオン、サントリーホールディングス、シークス、戸田建設、トヨタ自動車、日本通運、日本電信電話、日立製作所、三菱東京UFJ銀行、ワコール
NHK放送技術研究所、ジェイアール東日本建築設計事務所、JSR、資生堂、テルモ、東芝、東芝メディカルシステムズ、東レ、日新製鋼、東日本旅客鉄道、三菱自動車工業、三菱電機
キリン、THE FUN、JXTGエネルギー、宝さがしから地域デザインを考える会、東京急行電鉄、日産自動車、日本アイ・ピー・エム、東日本旅客鉄道、三井住友信託銀行、三井不動産、三菱重工環境・化学エンジニアリング、ヤフー、リノベーション住宅推進協議会
ANA総合研究所、キリン、ぐるなび、THE FUN、JXエネルギー、宝さがしから地域デザインを考える会、東京ガス、東京急行電鉄、日産自動車、日本アイ・ピー・エム、三井不動産、三菱重工環境・化学エンジニアリング、リノベーション住宅推進協議会
ANAホールディングス、キリン、THE FUN、宝さがしから地域デザインを考える会、千代田化工建設、東京ガス、東京急行電鉄、日産自動車、三菱地所、三菱重工環境・化学エンジニアリング、横浜赤レンガ、楽天、リビタ
グーグル、THE FUN、積水ハウス、全日本空輸、宝さがしから地域デザインを考える会、千代田化工建設、東京急行電鉄、日産自動車、パネッセホールディングス、三菱地所、三菱重工環境・化学エンジニアリング、横浜赤レンガ
おひさま進歩エネルギー、THE FUN、JFEエンジニアリング、JFEスチール、宝さがしから地域デザインを考える会、東京ガス、東京急行電鉄、東芝、日産自動車、水ing、三菱地所、三菱重工環境・化学エンジニアリング
Axcelead Drug Discovery Partners、イオンアグリ創造、ANAホールディングス、NTTデータCCS、花王、サントリービール、住友金属鉱山、東海旅客鉄道、凸版印刷、トヨタ自動車、富士フィルム、星野リゾート、ヤマト運輸
イオンアグリ創造、鹿島建設、キャノン、サントリービール、JXリサーチ、住友化学、全日本空輸、第一生命保険、凸版印刷、トヨタ自動車、星野リゾート、三菱地所、ヤマト運輸
イオンアグリ創造、鹿島建設、キャノン、協和発酵キリン、サントリービール、JX日鉱日石エネルギー、全日本空輸、凸版印刷、トヨタ自動車、日立製作所、星野リゾート、三菱地所、ヤマト運輸

出講企業・団体名

味の素、NTTデータ、花王、カブコン、キリン、JFEエンジニアリング、セブン・イレブン・ジャパン、全日本空輸、東海旅客鉄道、凸版印刷、日立製作所、丸紅、ヤマトホールディングス
味の素、NTTデータ、花王、カブコン、キリン、JFEエンジニアリング、セブン・イレブン・ジャパン、全日本空輸、SOMPOホールディングス/日本経済団体連合会、東海旅客鉄道、凸版印刷、日立製作所、ヤマト運輸
NTTデータ、花王、キャノン、JFEエンジニアリング、住友化学、東海旅客鉄道、凸版印刷、日本郵船、野村ホールディングス、日立製作所、富士フィルム、ヤマト運輸
アサヒグループホールディングス、味の素、JFEスチール、住友化学、住友商事、全日本空輸、帝国ホテル、トヨタ自動車、豊田通商、日本取引所グループ、三菱地所、三菱重工業
イオン、花王、国際石油開発帝石、JX日鉱日石エネルギー、住友林業、セブン・イレブン・ジャパン、帝人、トヨタ自動車、マルハニチロホールディングス、三井不動産、ヤマトホールディングス、リコー
イオンアグリ創造、ANA Cargo、鹿島建設、セブン・イレブン・ジャパン、東京電力パワーグリッド、東レ、中日本高速道路、ニッセイ基礎研究所、パナソニック、東日本旅客鉄道、パネッセスタイルケア、星野リゾート・マネジメント、三井住友フィナンシャルグループ
NTTデータ、オムロン、コニカミノルタ、コマツ、東京ガス、東芝/日本経済団体連合会、日本電気、みずほ銀行/みずほフィナンシャルグループ、三井不動産、三菱電機、ヤンマー
NTTデータ、オムロン、コマツ、セイコーエプソン、ソニー、タニタ、Niantic, Inc.、日本光電、パナソニック、パナホーム、マツダ
NRIセキュアテクノロジーズ、カブコン、セコム、東芝ライフスタイル、トゥ・ディファクト、ドコモ・ヘルスケア、日産自動車、日本テレビ放送網、東日本電信電話、日立システムズ、日立製作所、富士通
宇宙航空研究開発機構、川田テクノロジーズ、産業技術総合研究所、セコム、大和ハウス工業、東芝、トヨタ自動車、パナソニック、本田技術研究所、前川製作所、三菱重工業、安川電機
アクス、情報通信総合研究所、Spiber、関谷染色、日栄無線、日本政策金融公庫、日本電気、日本マイクロソフト、ノイアンドコンピューティング、富士通、マツダ、ライフネット生命保険
エネルギー・コミュニケーションズ、カスタネット、京都中小企業家同友会、こと京都、情報通信総合研究所、東北大学、ドリーム・アーツ、日本銀行、日本政策金融公庫、日本マイクロソフト、フジイコーポレーション、富士通、ライフネット生命保険、レアジョブ
朝日放送、情報通信総合研究所、大和ハウス工業、T&Y マツモトコーポレーション、東芝、凸版印刷、日本銀行、日本政策金融公庫、日本マイクロソフト、ヒロボー、富士通、ライフネット生命保険、楽天
いろどり、NTTコミュニケーション科学基礎研究所、NTTドコモ、CANVAS、情報通信総合研究所、中国放送、凸版印刷、西日本電信電話、日本銀行、日本政策金融公庫、富士通、ライフネット生命保険、楽天技術研究所
NTTコミュニケーション科学基礎研究所、NTTデータ中国、NTTドコモ、熊平製作所、KDDI、社会メディア総合研究所・知能ロボティクス研究所、情報通信総合研究所、TDK、凸版印刷、内閣府、フジイコーポレーション、富士通、楽天技術研究所
鹿島建設、JFEスチール、石油連盟、全日本空輸、電力中央研究所、東京ガス、東芝、戸田建設、トヨタ自動車、日揮、三菱日立パワーシステムズ、ユニバーサルエネルギー研究所
ANAホールディングス、JFEスチール、石油連盟、電力中央研究所、東京ガス、東芝、戸田建設、トヨタ自動車、日揮、三菱日立パワーシステムズ、三菱マテリアル、ユニバーサルエネルギー研究所
JFEスチール、シャープ、全日本空輸、電源開発、東京ガス、東芝 電力システム社、戸田建設、トヨタ自動車、21世紀政策研究所、日揮、三菱日立パワーシステムズ、三菱マテリアル、ユニバーサルエネルギー研究所
科学技術振興機構、JFEスチール、シャープ、新エネルギー・産業技術総合開発機構、全日本空輸、電源開発、東京ガス、トヨタ自動車、日揮、北海道電力、三菱日立パワーシステムズ、三菱マテリアル、ユニバーサルエネルギー研究所
JFEスチール、シャープ、新エネルギー・産業技術総合開発機構、全日本空輸、電源開発、東京ガス、東芝、トヨタ自動車、日揮、北海道電力、三菱重工業、三菱マテリアル、ユニバーサルエネルギー研究所



2018年度

企業人 派遣講座

一般財団法人

経済広報センター

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

TEL:03-6741-0021 FAX:03-6741-0022

<http://www.kkc.or.jp/>

「企業人派遣講座」ホームページのご案内

これまでの講師や企業・団体の一覧を
経済広報センターのホームページで
ご覧になることができます。

経済広報センター 企業人派遣講座

検索